

令和8年度「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和8年7月4日（土）～5日（日） 泊2日

2. ねらい

- ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
- ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
- ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。

3. 参加対象 小学校1～3年生

4. 応募者 75名

5. 参加者 34名（大学生ボランティア 12名）

6. 参加費 2,500 円

7. 日 程



7月4日（土）		7月5日（日）	
12:30	受付	6:30	起床
13:00	初めまして!忍者たち!	7:00	おはよう!忍者たち!
13:30	船上流忍者遊戯	7:30	船上流清掃修行
14:30	船上流忍者細工	8:00	あさげ
15:30	船上流水弾修行	8:50	荷物整理・退所点検
16:50	忍者屋敷のおきて	9:00	船上流忍者最終試練
17:30	ゆうげ	10:00	わくわく〇〇〇〇のうたげ!
19:00	船上流夜修行	13:00	片付け・感想記入
20:00	湯あみ	14:00	さらば忍者たち!
21:30	就寝	14:30	新たな修行の始まり!

II 実施状況

■1日目の活動の様子<7月4日（土）天候 くもり時々雨>

34名の子どもたちと学生サポーター12名が参加し、「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」を開始した。「初めまして!忍者たち!」（出会いのつどい）後に、「船上流忍者隊」が登場し、一人前の忍者になるための修行を行うことを告げる。忍者隊の登場により、盛り上がりを見せた後は「船上流忍者遊戯（交流レク）」で参加者同士の交流を図った。次の「船上流忍者細工」では忍者衣装作りを行い、衣装には次の活動で使用する水鉄砲の的も付けられるようにした。衣装も整い、天候にも恵まれてつどいの広場で「船上流水弾修行」を行った。船上流忍者



隊は5名。参加者の「ちっちゃい忍者隊」は2つの班を合わせて1グループとし、グループごとに船上流忍者隊と対戦を行った。途中、船上流忍者隊に負けそうな場面もあったが、最終的には「ちっちゃい忍者隊」が見事勝利し、修行クリアとなった。

夕食後は「船上流夜修行」。施設内を班でまわり、各ポイントのゲームをクリアしていった。参加者の意欲をかき立てるようなネーミングを工夫することで、どの班も取り組むことができた。どの班もがんばって取り組めたことを称賛し、1日目を終えた。

■2日目の活動の様子<7月5日(日)天候 雨>

2日目は朝の体操(エビカニクス)でスタート。朝食をおいしくいただいた後は「船上流忍者最終試練」。仲間と協力して目標数まで「忍者パワー」をゲットすることで最終試練をクリアとなる。「地蔵鬼(氷鬼)」と「とおせんぼ鬼」と2つのゲームに挑戦し、「忍者パワー」を目標数までゲットできた。宝箱を開けると中には参加者にわたす缶バッジが入っていた。

活動後は食堂へ移動し、「パン作り」を実施。粉からこねて、トッピングをして焼き上げた。班で協力してできあがったパンに、参加者は満足そうな笑顔を浮かべていた。

最後の「さらば!忍者たち!(別れのつどい)」では、各班の代表者と学生サポーターが感想を発表し合った。師範(所長)から「免許皆伝状」を代表者に授与した。参加者が退所する時に、職員と学生サポーターで玄関からお見送りをした。最後の別れに涙する参加者やサポーターの姿も見受けられた。

Ⅲ 総 括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 楽しかったことは2つあります。1つめは、にんじゃと水でっぼうでたたかったことです。2つめは、パンをつくったことです。できるようになったことは、自分でふとんがしまえるようになりました。
- ・ たのしかったことは水でっぼうでしようぶしたことです。きゅうしょくがおいしかった。パンをつくるのがたのしかった。じぞうおにごっこがたのしかった。
- ・ わたしがたのしかったのは、にんじゃしゅぎょうです。みずでっぼうであそんだのがたのしかったです。もうひとつたのしかったのは、とうせんぼおにごっこがたのしかったです。

2. 成 果

- ・ 鬼ごっこ、水鉄砲遊び、パン作りなどの活動内容について、参加した子どもたちには「楽しかった」という感想が多かった。

3. 課 題

- ・ 活動の説明をするときに実際に動いて見本を見せたり、映像や画像などの視覚的な支援を更に充実していく必要がある。
- ・ 活動の説明場面では、更に活動の目的を明確にしていく必要がある。

